

授業 科目	CC2G35	1単位	選択	演習	2学年前期	担当 教員	専任講師 板橋 華子					
	音楽的表現指導法											
授業 の 概 要	① 子どもの探究活動および表現活動とそれに関連する環境設定の事例を学ぶ。 ② 子どもの発達過程および日々の素朴な表現について理解を深め、子どもの好奇心の向かう先をケアする援助法を学ぶ。 ③ 様々な音楽遊びを柔軟に展開できるようにするための音楽知識と技能を身につける。 ④ 感覚体験の多様性・関連性について理解した上で、音楽的な体験を豊かにする環境や素材について考える。											
到達目標				学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ			学習成果Ⅲ		
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. 領域「表現」における保育のねらいと内容について理解を深め、子どもの好奇心と探究心を援助する方法を構想・工夫する力を養う。					○	○	◎	○	◎	○	◎	
2. 身近にある素材と環境を新たな角度から見つめ直し、子どもの感動に気づき共感できるような感性を培う。				○	◎	◎	◎	◎	◎		◎	
3. 様々な音楽遊びや表現活動のレパートリーを増やし、音楽的な表現力や実践力を高める。				○	◎		○		○		◎	
4. グループワークを通して、それぞれが創造性やコミュニケーション力を発揮して主体的・協働的に表現活動を展開する力をつける。				◎	◎	○	◎	◎	○	○	○	
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はivページ参照												
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標					復 習				
1	オリエンテーション	シラバスを読んでおく。	授業の進め方および評価の方法を理解する。					ポートフォリオの作成を通して授業を振り返る。				
2	子どもと保育者をつなぐ音楽的表現	幼稚園教育要領、保育所保育指針 他を読んでおく。	保育者は子どもの表現する喜びを導く環境であることを意識する。模擬保育指導案の構成を理解する。					ポートフォリオ作成を通して授業を振り返る。				
3	子どもの楽しさと学びを導くもの	レッジョ・エミリア・アプローチについて調べておく。	レッジョ・エミリア・アプローチに関するDVD視聴等を通して、子どもの探究活動とその援助法の例を学ぶ。					ポートフォリオ作成を通して授業を振り返る。				
4	子どもの楽しさと学びを導くもの	レッジョ・エミリア・アプローチについて調べておく。	レッジョ・エミリア・インスパイアドの実践例を知るとともにプロジェクト型の活動について理解を深める。					ポートフォリオ作成を通して授業を振り返る。				
5	0・1・2歳児との関わりの中で	乳幼児の音感受の特徴について復習しておく。	音楽的表現を伴う遊びの実践を通してスキンシップを楽しむ遊びや動作を伴う遊びなどの意義と提示の仕方を考える。					ポートフォリオ作成を通して授業を振り返る。				
6	0・1・2歳児との関わりの中で	自分で遊んだことのあるわらべうた遊びを思い出しておく。	わらべうたや様々な音楽表現の遊びの実践を通してスキンシップを楽しむ遊びや動作を伴う遊びなどの意義と提示の仕方を考える。					ポートフォリオ作成を通して授業を振り返る。				
7	3・4・5歳児との関わりの中で	自分で遊んだことのあるわらべうた遊びを思い出しておく。	わらべうたや様々な音楽表現の遊びの実践を通して、からだを使った遊びやグループでのやり取りを伴う遊びなどの意義と提示の仕方を考える。					ポートフォリオ作成を通して授業を振り返る。				
8	3・4・5歳児との関わりの中で	身近にある素材を使った面白い遊びを考える。	わらべうたや様々な音楽表現の遊びの実践を通して、からだを使った遊びやグループでのやり取りを伴う遊びなどの意義と提示の仕方を考える。					ポートフォリオ作成を通して授業を振り返る。				
9	リズムで遊ぶ	身近にある素材を工夫してリズム活動で使う楽器を作る。	リズムアンサンブルの作品づくりを通して様々な音響の違いに気づき、模倣、問答、反復、即興を用いたコミュニケーションを味わう。					ポートフォリオ作成を通して授業を振り返る。				
10	絵本の中の歌台詞	歌台詞が入った絵本やオノマトペ絵本について調べておく。	絵本の中の歌台詞をどのように読み演じるのかを通して自分なりの表現について考察する。					ポートフォリオ作成を通して授業を振り返る。				
11	小さな歌	メロディ課題に取り組む。	メロディの基本的なつくりを理解する。保育場面を想定して小さな歌を作る。					ポートフォリオ作成を通して授業を振り返る。				
12	模擬保育①	模擬保育の計画と準備をする。	子どもの楽しさと学びを導くモデルであるという意識を持って模擬保育を行う。保育者として子どもの経験をどのように評価していくのかについて考える。					ポートフォリオ作成を通して授業を振り返る。				

13	模擬保育②	模擬保育の計画と準備をする。	子どもの楽しさと学びを導くモデルであるという意識を持って模擬保育を行う。保育者として子どもの経験をどのように評価していくのかについて考える。	ポートフォリオ作成を通して授業を振り返る。
14	模擬保育③	模擬保育の計画と準備をする。	子どもの楽しさと学びを導くモデルであるという意識を持って模擬保育を行う。保育者として子どもの経験をどのように評価していくのかについて考える。	ポートフォリオ作成を通して授業を振り返る。
15	まとめ	これまでの授業を振り返っておく。	授業で取り組んだ活動を振り返り、改めて領域「表現」が目指す環境づくりについて考えを深める。	自身のポートフォリオを振り返り学びの成果を確認する。
成績評価	課題・授業への取り組み（60％） 提出物（40％） 合計 100％			
教員からのコメント	子どもたちは全身の感覚を総動員して、身の周りにある「ヒト・モノ・コト」との絆を作ります。好奇心が導く子どもの探究を大切にできるよう、本授業では実践的な活動を取り入れながら多角的に発想を飛ばし、柔軟に保育を構成する力をつけることを目指します。その際、自ら学んだことや心に浮かんだこと、気づいたこと、工夫できたことあるいは失敗したことなどを収集してオリジナルなポートフォリオ（記録ノート）を作成しましょう。初回の授業で基本となる材料について説明します。			
教科書		推薦図書	書 名 平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型こども園教育・保育要領＜原本＞（最新版） 著 者 内閣府・文部科学省・厚生労働省 発行所 チャイルド本社 書 名 12ヶ月の自然あそび87 著 者 高橋京子 発行所 新星出版社 書 名 レッジョ・エミリアと対話しながら：知の紡ぎ手たちの町と学校 著 者 カルラ・リナルディ 発行所 ミネルヴァ書房 書 名 子どもたちからの贈りもの レッジョ・エミリアの哲学に基づく保育実践 編著者 カンチェーミ・ジュンコ、秋田喜代美 発行所 萌文書林 書 名 ポートフォリオ入門：子どもの育ちを共有できるアルバム 著 者 森真理 発行所 小学館 その他 授業の中で随時紹介する。	